

# 山口県建設技術センター

この情報誌は土木技術に関する様々な情報を山口県及び市町の土木技術職員の皆様方に提供するものです。

# 情報誌 Vol. 74

発行：一般財団法人 山口県建設技術センター 発行日：令和5年7月6日



ごあいさつ

新人職員紹介

令和5年度の研修計画

一般国道490号道路改良(雲雀山トンネル)工事  
・一般国道490号道路改良(地盤改良)工事

現場見学の開催

研修におけるDXの取組

研修テキストのダウンロード・動画の閲覧について

## ごあいさつ

一般財団法人山口県建設技術センターの業務運営につきましては、設立以来、皆様方に格別の御支援、御協力を賜っており、厚くお礼を申し上げます。

私は、阿部前理事長が令和5年3月末で退任したことに伴い、その後任として4月より理事長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

当センターは、建設技術者の資質の向上を図るとともに、県及び市町が施行する建設事業の円滑で効率的な執行を支援し、もって良質な社会資本の構築に寄与することを目的に、山口県及び県下全市町の出資により平成7年4月に設立されました。

その後、平成24年4月1日には、「一般財団法人」に移行し、11年を経過したところです。

この間、建設技術者の人材育成や構造物の品質向上に係る調査研究等の公益目的事業を着実に進めるとともに、技術研修、設計積算、工事管理等の業務を通じ『公共工事の発注者支援機関』としての使命を果たしてまいりました。

こうした中、全国では、昨年の「福島県沖地震」や令和3年に全国を襲った「令和3年8月の大雨」、令和2年に九州に甚大な被害をもたらした「令和2年7月豪雨」などの大規模自然災害が頻発しており、厳しい財政状況の中、引き続き、防災・減災対策を着実に推進する必要があります。

また、新型コロナウイルス感染拡大を契機として、インフラ分野におけるDXが加速化しており、インフラメンテナンスの高度化・効率化や計画的な公共インフラの維持管理に繋げるとともに、3次元データを活用した生産性向上や働き方改革を進める必要があります。

このほかにも、将来にわたって地域を支えつづけることができる建設産業を構築するため、若い担い手の確保・育成など、県および市町における土木建築行政には喫緊の課題が山積です。

当センターとしては、こうした諸課題に的確に対応すべく、これまで築いてまいりました県及び市町との信頼・協力関係のもと、新たな観点も取り入れ、発注者支援機関としての使命を積極的に果たしていく考えでありますので、引き続き皆様方の御支援、御協力を賜りますよう、お願いたします。



理事長 今村 政裕

## 新任職員紹介 ～よろしくお願いたします～

### 技術部



中岡 淳二 主任

これまでに培った経験を活かし、皆様のお役に立てるよう努めて参ります。よろしくお願いたします。

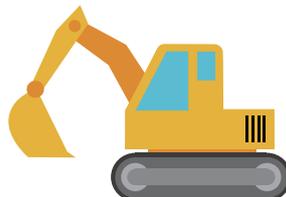
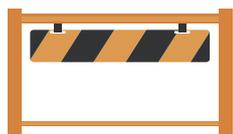
### 業務部



田川 和宏 主任

皆様の業務に役立つ、実りある研修となるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いたします。

ヨロシク  
お願いたします



# 令和5年度の研修計画

(一財) 山口県建設技術センターで実施する研修について、今年度計画のご案内をします。なお、研修日程については変更となる場合がありますので、最新情報についてはセンターHPや各研修の案内で確認をお願いします。

## 令和5年度 研修計画総括表

研修区分	研修課程名	研修内容	研修対象者
職務基礎研修	新任者(前期)	・土木技術職員の心構え・設計書の構成と歩掛表の見方(工事)・設計書の作成演習・土木事業と工事監督	新規採用土木職員等
	新任者(後期)	・設計書の構成と歩掛表の見方(業務委託)・設計書の作成演習(業務委託)・業務成績評価制度・地質調査について・施工管理と工事検査	
	災害復旧基礎	・災害復旧事務の流れ・災害復旧事業の計画と演習・災害現場測量実習・査定設計書作成演習・査定の現地演習	
	積算システム	・土木積算システム演習・設計書の作成演習	
	CAD	・電子データ活用の取組・CADの概要・CADの操作演習(初級、中級)	
実務能力研修	設計積算	・積算概念・設計積算の留意点・土木積算演習・小構造物設計演習・積算書作成ミス想定事例	経験5年程度の職員等
	道路維持管理実務	・道路維持管理一般・重要構造物の維持管理・道路法概論と道路の管理	
	河川実務	・河川事業一般・河川管理施設等構造令の解説・河川計画演習・河川施設維持管理・河川環境・ソフト対策・ダム一般・河川に関するトピックス	
	都市計画実務	・都市計画の概要・景観行政・都市計画法関連・事例紹介・都市計画事業(街路、公園、市街地開発)	
	砂防実務	・砂防事業の概要・砂防の技術基準と設計演習・急傾斜地対策の技術基準と設計演習・地すべり対策の技術基準・砂防等区域指定と管理・土砂災害防止法	
	施工管理(基礎)	・施工計画・品質管理・施工管理・写真管理・工事現場の安全確保・工事監督の留意事項・工事関係書類の作成マニュアル	
	施工管理(コンクリート品質確保)	・配合設計・目視評価・コンクリートの練り混ぜから打込み・締固めの体験実習(1日研修を3週間で実施)	
	施工管理(ICT施工管理)	・建設DXの推進・ICT施工の活用・ICT活用工事の現場実習	
	予算・法令実務	・土木予算編成のしくみ・契約・決算事務の流れ・社会資本整備総合交付金の制度・土木関係法令の基礎・建設業法・廃棄物処理法・会計検査の動向・土地収用法概略	
	住民合意	・プレゼンテーション(概論、基礎)・プレゼンテーション演習	
	災害復旧工法	・河川・海岸災害復旧工法・道路・橋梁災害復旧工法・改良復旧工法・復旧工法演習	
転勤対象者技術	・設計・契約変更ガイドライン・建設業法に基づく適正な施工体制・入札・契約制度の改正・設計書作成の留意点・総合評価入札方式	県の土木職員等	
専門能力研修	道路計画	・道路計画の概論・将来交通量の推計・費用便益分析・道路概略設計演習	経験10年程度の職員等
	擁壁設計	・擁壁工設計概論・擁壁工設計の基本・擁壁工設計演習	
	交差点設計	・交差点設計マニュアル解説・交差点設計演習	
	現場研修	・現場施工法・現場管理の実際・現場施工事例・事例研究	
	新技術・新工法	・新技術新工法の紹介・建設分野の最新動向・現場施工事例	
管理能力研修	検査技術	・検査制度・成績評価制度(工事、業務)・模擬工事検査	経験20年程度
公益目的事業	橋梁設計・維持管理研修	・橋梁長寿命化計画・橋梁構造の基礎知識・橋梁補修・補強設計・橋梁点検実習	県・市町の土木職員等

※研修対象者の経験年数については目安であり、受講資格を限定するものではありません。 ※橋梁設計・維持管理研修は、公益目的事業として実施しています。

## 令和5年度 研修実施日程表(7月以降)

※研修会場：セミナーパークほか

月	研修項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
7	(実務) 施工管理(基礎)					●	●																										
	(実務) 災害復旧工法												●	●																			
	(実務) 河川実務																				●	●											
	(専門) 新技術・新工法(ICT活用)																										●	●					
8	(実務) 道路維持管理実務			●																													
	(実務) 住民合意									●																							
	(実務) 予算法令実務																									●	●						
	(実務) 施工管理(コンクリート)																																●
9	(実務) 施工管理(コンクリート)									●																							
	(実務) 都市計画実務																																
	(実務) 設計積算																																
10	(公益) 橋梁設計・維持管理																																
	(専門) 道路計画																																
11	(基礎) 新任者(後期)	●																															
	(管理) 検査技術																																
	(専門) 交差点設計																																
12	(専門) 現場研修																																
	(実務) 施工管理(ICT)																																

※日程は、変更になることがあります。(最新日程はセンターHPをご覧ください) ※日付のマークに( )が付いている研修は、センター独自研修及び公益目的事業研修です。

## 新設研修課程

令和3年度策定した年度別研修実施計画では、新たな研修課程の創設や従来の研修課程の再編を行いました。再編した研修課程のうち令和5年度より開催する研修についてご紹介します。

### 施工管理(コンクリート品質確保)

令和3、4年度と実施されたコンクリート技術者養成講座を今後はセンター研修へ引継ぎ実施するもので、実際にコンクリートの打込みを体験することを通して、必要な技術力の向上を図ることを目的として、従来の施工管理課程の再編を行いました。

# 《表紙》 一般国道490号道路改良(雲雀山トンネル)工事 ・一般国道490号道路改良(地盤改良)工事

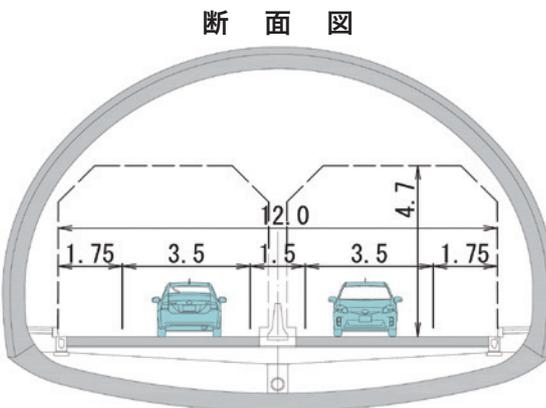
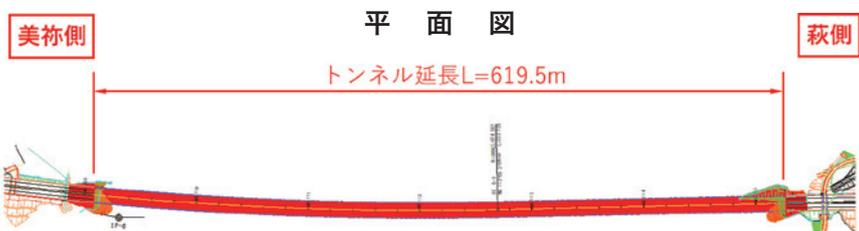
一般国道490号絵堂萩道路は、小郡萩道路(延長約30km)の一部を構成する延長約15km(現道活用区間約6kmを含む)の道路で、県央部と山陰地域との交流促進、空港や新幹線駅などの広域交流拠点との連携強化、観光拠点を結ぶ広域観光ネットワークの形成を図ることなどを目的として整備が進められています。

なお、(一財)山口県建設技術センターでは、トンネル工事の調査設計管理および設計図書作成業務に携わり支援させていただきました。



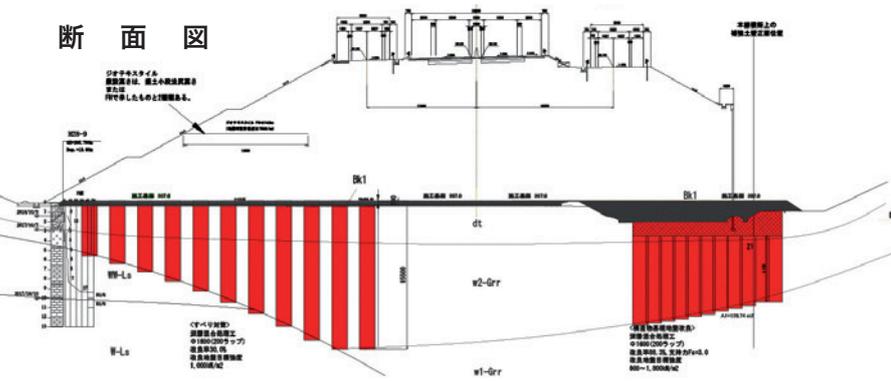
## 一般国道490号道路改良(雲雀山トンネル)工事について

トンネル延長：619.5m  
幅員：12.0m



延長：500m  
地盤改良工法：深層混合処理工法  
数量：1,675本

## 一般国道490号道路改良(地盤改良)工事について



## 現場見学の開催

新任者(前期)研修において、一般国道490号道路改良(雲雀山トンネル、地盤改良)工事の現場見学を実施し、県市町合わせて45名の方が参加されました。

このような大規模構造物等の現場について受発注者からの説明を受け、見学することができたことは、参加された方々にとって貴重な機会になったと思います。

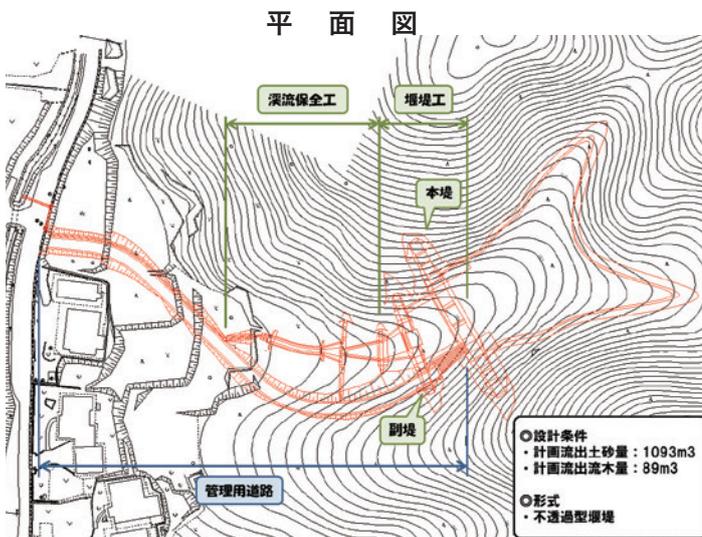


雲雀山トンネル工事、地盤改良工事概要説明

一般国道490号道路改良(雲雀山トンネル、地盤改良)工事の現場見学に併せて、宇部土木建築事務所美祢支所で事業実施されている萩原北下川砂防工事についても現場見学を実施させていただきました。

本堤は不透過型の堰堤で、施工はすでに完了しており、引き続き、副堤の施工を進められています。

新任者の皆様に関近で砂防堰堤を見学してもらうことで、砂防堰堤の役割や規模について実際に感じていただくことができたと思います。



工事内容確認(地盤改良工事現場にて)



ドローン体験(地盤改良工事現場にて)



砂防事業、萩原北下川砂防工事概要説明



工事内容説明

新任者(前期)研修の現場見学は、コロナ禍により過去3年間中止しており、4年ぶりの開催となりました。皆さん興味深く、規模の大きな現場ということもあり驚いた様子で見学されていました。

また、宇部土木建築事務所美祢支所の皆様にも大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

## 研修におけるDXの取組

当センターが実施する研修においてDXの取組を進めており、研修の携行品としている歩掛表等に関してこれまで紙媒体としていましたが、紙媒体又はパソコン・タブレットにデータを入れて持参する形へ変更しました。今後は、研修テキストの電子化についても取り組んでいくこととしています。



当日持参を忘れた場合…



貸出用の  
タブレットを  
センターで準備



## 研修テキストのダウンロード・動画の閲覧について

当センターが実施した研修について、令和3年度以降実施分のテキストについては、建設技術センターのHP（県・市町職員限定ページ）で公開しています。またweb研修を開催した研修については、動画を閲覧することが可能ですので、是非ご利用ください。

なお、テキストには著作権が含まれるため、研修目的での複製以外は慎んでいただきますようお願い致します。また、講師や関係機関との調整により、全てのテキストが掲載されたものではないことを申し添えます。

### 1 センターHPにアクセスし、県・市町職員限定ページにログイン



クリックして  
ID・パスワードを入力

### 2 令和5年度研修案内をクリック



### 3 テキストの閲覧



Web研修動画を  
クリック

### 4 研修動画の閲覧



## 編集 後記

新型コロナウイルス感染症に関して、位置づけが「5類感染症」になり感染対策の取り扱いが変化しています。当センターにおいては、引き続き、利用する施設の感染対策を踏まえながら新型コロナウイルス感染症に配慮した研修を実施していきたいと考えておりますので、奮ってご参加ください。

また、コロナ禍を契機としてデジタル化が大きく進み、当センターにおいても在宅勤務やWeb研修などに取り組んできました。引き続き、研修のDX化等取り組んでいきたいと思っておりますので、研修にご参加いただき、ご意見を頂ければ幸いです。

【Eメール】 info@yama-ctc.or.jp  
 【ホームページ】 https://www.yama-ctc.or.jp  
 〒 753-0077 山口市熊野町1番10号  
 ニューメディアプラザ山ビル(NPYビル)10階  
 一般財団法人 山口県建設技術センター  
 情報誌編集委員会 宛  
 [TEL] 083-920-1233  
 [FAX] 083-920-1288